

八十里越開通後、子どもたちの交流にも期待

三条市立森町小学校5年生から「招待」 渡部町長が訪問

招待の手紙が届く

只見町のお隣・三条市にある市立森町小学校5年生から、渡部只見町長宛てに手紙が届きました。

手紙には、「11月6日に『ザ・米フェス2022イン田』を開催します。下田のお米を食べてほしいのでぜひ来てください」と書かれ、町長をイベントに招待するための手紙でした。残念ながら、6日は公務によりイベント参加が叶わ

私たちは2022年11月6日(日)にお米のお祭りを開催します。名前は「ザ・米フェス2022イン田」です。
場所は新潟県三条市下田地区にある、いり湯うていというお稲荷さんの生産広場です。
内容は、お米の直売やくりやさなまを売ったデザートや料理、グッズも販売します。イベントは新キャラうたかいや歌、ゲームもあります。下田のお米を食べてほしいのでぜひ来てください。気温差がはげしいですが、お体に気をつけてください。
▲森町小5年生からの手紙(一部抜粋)

ず、町長はイベント翌日の7日に森町小学校を訪問することになりました。

渡部町長が小学校に到着すると、児童や山宮校長、滝沢三条市長のお出迎えを受けました。

ザ・米フェスの報告

児童は、ザ・米フェスで下田の郷土料理ひこぜんに自分たちのアイデアを取り入れたオリジナルひこぜんを販売したことなどを報告しました。他にもお米をイメージしたオリジナルキャラクターの紹介をしました。

また、ザ・米フェスの実行委員長で下田地区出身のシンガーソングライターの本道スズオさんが、自身のオリジナル曲「お米のうた」を只見町に向けてアレ

ンジし、児童と一緒に披露しました。

報告の後、児童は渡部町長に学校の田で育てた「森笑米」を手渡しました。

報告などを受けた渡部町長は「八十里越が開通すれば冬でも行き来ができるようになります。森町小学校と只見町の児童が交流できる日を楽しみにしています」と話しました。



▲オリジナルひこぜんを紹介する児童



▲最後に児童と一緒に記念撮影をしました
(写真手前左：滝沢市長、写真手前右：山宮校長)



▲「お米のうた」を披露する一本道スズオさんと児童。
歌詞の一部をアレンジし披露されました

森町小学校訪問後、ザ・米フェスの事務局を務める「NPO法人ソーシャルファーム三条」を訪問し、同法人に所属する地域おこし協力隊の皆さんと交流しました。

○NPO法人ソーシャルファーム三条：三条市の地域おこし協力隊の約半数が同法人に所属しています。棚田再生プロジェクトなどの農業分野や地域の学校と連携した教育分野など様々な角度から地域活性化を行っています。

国道289号 八十里越



○国道289号は、新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市までの総延長約280kmの道路です。このうち、新潟県三条市下田地域から福島県只見町の県境部分(現在も不通区間)となっています。

○国道289号の改築事業は、昭和61年から始められ、令和3年に国土交通省が「今後5ヶ年程度での全線開通を目指す」と発表をしました。

○全面開通によって、福島県南会津地域と新潟県中央地域間の移動にかかる所要時間は、約79分となります。これにより、救命救急体制の向上が期待されます。また観光においても、新しい観光エリア・ルートを生かすために意見交換や商品開発が行われています。